

＜受賞団体の取組概要＞

【最優秀賞】よこすかキャリア教育推進事務局

○連携・協働している機関や団体、組織

(教育関係者)

横須賀市教育委員会、市内中学校 11校

(行政、地域・社会、産業界)

横須賀商工会議所、横須賀市都市政策研究所、キャリア教育応援団(360社)

○活動内容

横須賀商工会議所・横須賀市教育委員会・横須賀市が連携し、商工会議所内に“よこすかキャリア教育推進事務局”を設置。当該事務局が支援する中学校(以下、「推進中学校」という。)の「総合的な学習の時間」を体系化し、1年を通して子ども達の職業観・勤労観の醸成を目的とした教育プログラムを実施している。事務局は、子ども達の学びをより深めるためのカリキュラム作成の支援及び、教育現場と産業界の橋渡し役として、「キャリア教育応援団」からの職業人講師(MTT=マイタウンティーチャー)の派遣依頼、職場体験受入に係る事業所側のカリキュラム作成等の役割を担っている。

○連携の工夫

- ・推進中学校のキャリア教育担当教諭を中心とした、校長以下実施学年の教職員が行う総合的な学習の時間における年間を通じた具体的なキャリア教育プログラムの作成に対する当該事務局による支援(年度初)。
- ・年度初に作成した教育プログラムの事後検証(年度末)の実施によるプログラムの改善。
 - ①生徒達からの意見収集や感想文の提出
 - ②参加MTTとの効果検証
 - ③MTTと担当教師との意見交換会
 - ④担当教師との効果検証
 - ⑤PTA保護者・事業主からの意見収集
- ・「キャリア教育応援団」(地元企業360社)による講師派遣や職場体験への協力。

【優秀賞】瀬戸キャリア教育推進協議会

○連携・協働している機関や団体、組織

(教育関係者)

愛知県教育委員会教育企画室、瀬戸市教育委員会、瀬戸市立小中学校長会、名古屋大学、名古屋学院大学、愛知県立瀬戸窯業高等学校、愛知県立瀬戸北総合高校、愛知県立瀬戸窯業高等技術専門校、瀬戸市立小・中学校全校（28校）、瀬戸市立瀬戸養護学校さくらんぼ学園、大学コンソーシアムせと

(行政、地域・社会、産業界)

瀬戸商工会議所、愛知県産業労働部就業促進課産業人材育成室、瀬戸市交流活力部産業課、瀬戸暁工業団地協議会、瀬戸市穴田企業団地連絡協議会、瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会、瀬戸公共職業安定所、瀬戸陶磁器工業協同組合、愛知県陶磁器工業協同組合、愛知県珪砂鉱業協同組合、瀬戸陶磁器卸商業協同組合、瀬戸市商店街連合会、瀬戸市PTA連絡協議会、瀬戸青年会議所、瀬戸市少年センター、瀬戸市子ども会連絡協議会、せとっこ未来会議、NPO法人アスクネット、NPO法人ネットワーク・せとっこ、NPO法人ITサポート一瀬戸、NPO法人成長・発達サポートあいち、瀬戸信用金庫

○活動内容

瀬戸市において地域の持続的な発展を目指し、瀬戸商工会議所を中心に、行政・教育委員会・小・中学校・企業・商店街が一体となってキャリア教育に取り組んでいる。合言葉を「瀬戸がまるっとセンセイになるとき」とし、地元の企業の協力により行う職場体験や地域で働く経営者や企業人で構成する市民講師による出前授業を瀬戸市内全小・中学校で実施している。

○連携の工夫

・企業と市民の寄附を受け付ける「夢たまご基金」を創設し、事業費に充てるとともに、瀬戸市・瀬戸商工会議所から補助を行っている。

・年間スケジュール

前年度末 協力企業へのアンケート調査（職場体験受け入れの可否、企業が教育現場に求めること等調査）結果の各学校への共有

4月 瀬戸キャリア教育推進協議会における意見交換

5月 全小・中学校の教務主任を対象にしたヒアリング

8月 瀬戸市の全教員を対象にした研修会講座の開催

11月 市民が参加する成果発表会における展示や授業で作った品物の模擬販売

2・3月 市民講師や職場体験受け入れ企業を対象としたベストプラクティスを共有する情報交換会、保護者を対象としたセミナーの開催

【優秀賞】 島根県立隠岐島前高等学校

○連携・協働している機関や団体、組織

(教育関係者)

海士町教育委員会、西の島町教育委員会、知夫村教育委員会、海士中学校、西の島中学校、知夫中学校

(行政、地域・社会、産業界)

隠岐島前高等学校の魅力化と永遠の発展の会（島前地域の三町村長、三町村議長、三町村総務課長、PTA会長、OBOG会会長、島前高校長等で構成／以下、「魅力化の会」という）、隠岐島前高等学校魅力化推進協議会（島前地域の民間事業者、塾経営者、ボランティア団体代表、地域住民有志等で構成／以下、「推進協議会」という）、隠岐國学習センター

○活動内容

離島であり少子化の進む島前地域において、地域の特性を活かしながら、学校が地域・社会や産業界と連携・協働し、町村長や議員・教育長等を含めた会、民間事業者や住民有志・教員で構成する実践組織、学校－地域連携型の塾など、既存の枠組みを超えた組織をつくりキャリア教育を推進している。普通科高校において、社会起業家たちによる授業やビジネスゲーム等を活用した「夢探求」、インターンシップを含め社会人基礎力を育てる「生活ビジネス」、実際の課題解決に取り組む「地域学」、観光事業を実践する「ヒトツナギ」、学習センターでの「夢ゼミ」等の授業・課外活動を行い、進学実績や生徒数の急増にもつながっている。

○連携の工夫

- ・魅力化の会の事務局スタッフ（社会教育主事、コーディネーター、事務スタッフ）による協働（スタッフは高校に駐在）。
- ・魅力化の会による資金や施設設備等の支援等ハード面を中心とした協力。
- ・推進協議会によるインターン先の事業所開拓や地域人材の紹介などソフト面の協力。
- ・教育委員会によるカリキュラム策定や地域資源（ヒト、モノ、コト）の紹介、授業コーディネートなどの協力。
- ・学習センターによる進路指導部や各学年の担任と連携した生徒への指導。